



大 船 山

ホームページアドレス https://www.city.ena.lg.jp/enaschoolnetwork/e/kamiyahagi_1/index.html

第 3 号

令和8年5月26日

あいさつをすると、心地よいですね

校長 高橋 かおり

現在、上矢作小学校の各学級の廊下には、たくさんのこいのぼりが泳いでいます。代表委員会の呼びかけで行っている「こいのぼりキャンペーン」の掲示です。あいさつをしていた人の名前や様子、そのときに感じた気持ちなどをこいのぼりに書いています。1年生は習いたてのひらがなで仲間の名前を書いています。2年生以上になると、相手の顔を見てあいさつができたことや、登校途中に出会った地域の方にあいさつをできたこと、あいさつを返していただいたことなどが書かれています。高学年は、そのときにどのような気持ちか書かれています。代表委員の「あいさつをすることの心地よさに気づき、進んであいさつしようという気持ちになってほしい」という願いに高学年の仲間が賛同し、さらに学校全体に広がって、上矢作小学校は今、あいさつでいっぱいになっています。

また、先日の学校運営協議会でも子ども達のあいさつが話題になり、「階段で会ったときに子どもから挨拶をしてくれた」「『こんにちは』『ありがとう』などの言葉をしっかり言える人に育ってほしい」といったご意見をいただきました。少しずつ変わっていく子ども達や学校の様子が、学校外の方にも伝わったのだとすればうれしいことです。



低学年：野菜の苗植え

ふるさと学習が始まりました

上矢作小学校は、地域の方から上矢作の自然・歴史・文化を学ぶ「ふるさと学習」を大切にしています。先日は、低・中・高学年ごとに、上矢作のまちに出る「地域めぐり」をしました。低学年は圓頂寺、中学年は中馬街道、高学年は中馬街道を経て遠山塚へ行きました。また、低学年と中学年は壮健クラブの皆さんに習って栽培活動が始まりました。地域学校協働活動推進員や、漆原壮健クラブの方が事前に畑を起こしてくださるなど、本当に多くの方のご協力を得て、子ども達は豊かな体験をすることができています。今後は、太鼓、アユの放流、418（よい歯）花壇、読み聞かせ、ドローン教室、地域講師を招いての授業等、学年に応じて様々な場面で地域の方から学んでいきます。

ふるさと上矢作を知ることや、地域の皆さんの温かい眼差しを感じて体験をすることを通して、子ども達はふるさとを愛する心を育んでいくのだと思います。

中学年：
大豆の種まき高学年：
地域めぐり